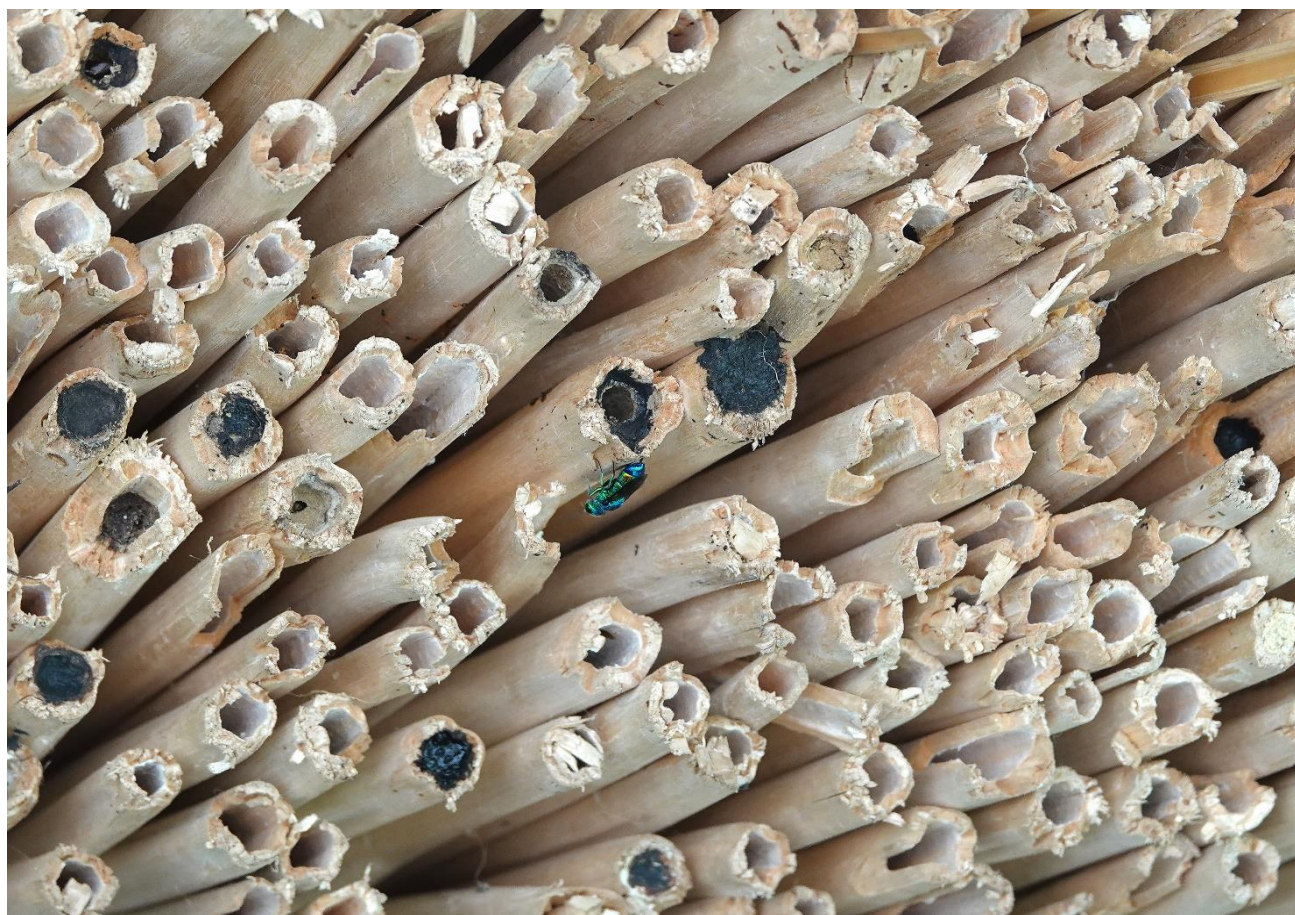


和名	分類	特徴ほか	会える場所			
ミドリセイボウ	膜羽目 セイボウ科	青～緑 の金属光沢 寄生蜂 6～8月に発生	ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
			x	△	△	全国



「飛ぶ宝石」とも呼ばれるセイボウ（青蜂）の1種で夏に発生、青～緑の金属光沢、体長1cm内外の小型のハチ。
ヤマトルリジガバチという特定のハチに寄生し、発生地では、宿主のヤマトルリジガバチが巣を作る竹、藁などの筒周辺で待ち構え宿主が生餌のクモを何度も巣に運び入れるすきをついて巣内に産卵、孵化した幼虫は宿主の卵、幼虫、クモを食して生長する。

川崎市 8月11日（2023年） 宿主のヤマトルリジガバチの巣周辺で産卵の機会を伺うミドリセイボウ



川崎市 8月2日（2023年） 宿主のヤマトルリジガバチの巣がある藁筒周辺に張って産卵の機会を窺う



川崎市 8月3 (日2023年)



川崎市 8月4日 (2023年)

宿主 ヤマトルリジガバチ
の巣周辺に張っている



川崎市 8月8日 (2023年)



宿主 ヤマトルリジガバチ

藁筒内に産卵、生餌のクモを次々と巣内に持ち込み、クモに産卵してから筒の入口を歌する。

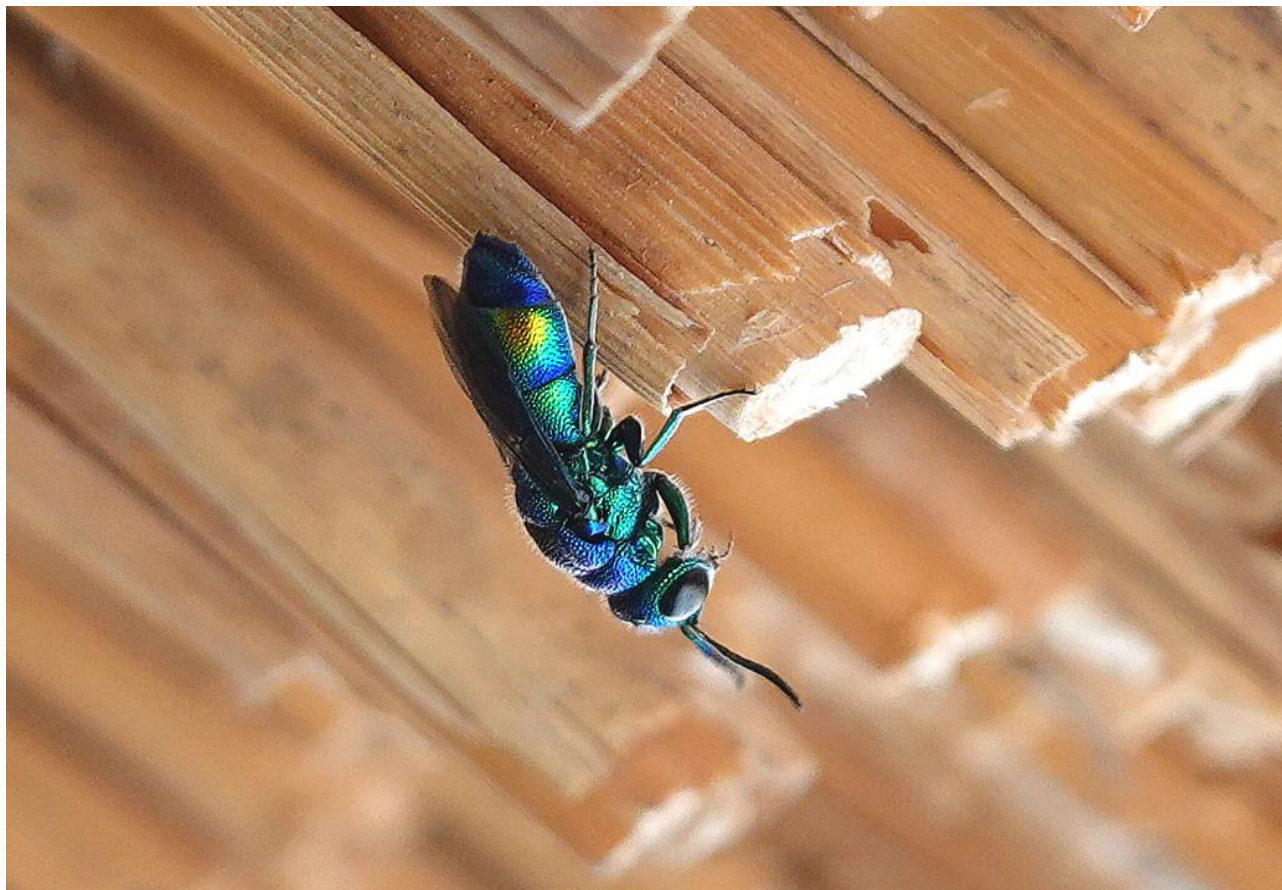
その合間にミドリセイボウが侵入して巣内に産卵して、孵化した幼虫が宿主の卵、幼虫、エサを食して育つ。



川崎市 8月8日 (2023年)



川崎市 8月11日 (2023年)



川崎市 7月24日（2024年）



川崎市 7月25日（2024年） 宿主のヤマトルリジガバチ。しきりにクモを狩っては藁筒内の巣に運ぶ



他の寄生蜂 川崎市 6月9日（2024年）ゴキブリに寄生するという変わり種のセナガアナバチ



同上 川崎市 7月24（2024年）セナガアナバチ